

即ち海門、通州等揚子江沿岸港に至る線路は英國の實權に屬する津浦線南段と並行し其及すべき影響甚大なるものあり且英國の勢力範圍なる長江沿岸に上海に對抗すべき一大吞吐港を設け佛露の勢力に左右さるゝは實に一大脅威とする所なりし爲め當時の英國は朝野共に舉つて海門起點設に反對抗議せる事は其一原因なり

次に徐州、清江浦、海門線或は徐通線にせよ其經過する大部分は淮水水害區域内を經過するものにして其線路工事以外に困難なるものあるべく洪澤湖の水婁を除去するに非されは線路の安全を期すべからず且將來津浦線南段並に運河の水利と競争するの不利あり

次に灌河口に就て見るに該河口に至るへき一線も亦淮北水害の地を経て灌河南南岸に達して河口に至るべきものにして灌河の積弊たる無數に存する堰閘を去り水利を計るに非されは徒らに汜濫の虞れあるのみならず灌河の水運にたのむ能わす一大吞吐たるの資格に乏し以上は其經濟的見地より見たる原因なるも更に重大な

る原因とも見るべきは清國郵傳部は獨逸の膠州灣經營に對抗して海州を經營するの必要を感じる事切なるものありしを以て一九十年自ら進んで海州を開放し更に隴海線の起點をも此地に設けんと努力せる事多大なるものありしは實に海州起點決定上の一大原因なり然るに一九二〇年の華府會議の結果青島を回收し今や威海衛をも接收せんとしつつある今日最早支那政府は郵電部時代の理想たりし海州を以て青島威海衛に對抗する必要を認めざるに至り目下財政難の折柄何を苦んてか海州築港に巨費を投ずる必要あらんと主張する築港尙早論を聞く事盛んとなりたと大戦後の歐洲財界の疲弊とは現在の如く築港行惱みとなり貧弱なる臨洪口浚渫の如き姑息手段を採らんとするに至れり蓋し第一期作業に於て約五十萬元を其完成迄に約一億元を要し單に外洋船入港に必要な浚渫並に棧橋設備のみにても尙二千萬元以上を要すると稱せらる老窩港灣の築港は果して世人の主張する如く其時期尙早なるものならんや彼の青島獨管時代より日管時代に繼承されたる高徐鐵路は僅かに四千萬元を以て其完成を期し得べく又目下英國の努力しつつある道濟鐵路は其完成の曉には隴海西路と後線の如き干係を爲し隴秦豫三省の貨物の大部分は不完全なる開港地大浦に出廻りせすして天津青島港に出廻るものと思さるる之に依て見るに老窩の築港は高徐線開通前に之を完成するに於ては青島航路の發展發達と相俟ち隴秦豫三省より頻海に至る最短距離線として其發展は優に青島上海を凌駕するに至らん然れども若し不幸にして高徐線開通後に至らんか三省產出貨物は徐州に於て二分さるべく徐海線によるの必要なく兩者は此地に於て激しき競争を余議なくさるゝに至るべく海州は貧弱なる臨洪河の浚渫のみにて満足し築港完成の期は永久に懸案となるへし即

狀況

(其十五)

津浦膠濟兩鐵路の開通は從來の交通系に一大變化を及し古來重要視せられし通路にして現在其の價值を失墜せるものあるも道路は依然水運と叫俟つて交通上重要な意義を有せり今その重なるもの二三に就き述べんに

(A)芝罘灘縣街道

本路は芝罘及膠州より濰縣を經申して青州鄒平章邱を走り當地に至る大道にして膠濟鐵路開通前に在りては車馬の交通頻繁なりしも現今にては一部區間に車馬の交通あるのみなり

B) 北京竞州街道

本路は兗州濟南北京を通ずる街道にして
 略々津浦線と並行し北は平原德州を経て
 天津に至り南は泰安を経て兗州に至り更
 に江蘇省の徐州に達するものなり、泰安
 よりは更に新泰蒙陰を経て沂州に出で南
 下して江蘇省淮安に達す、現今當地と泰
 安以南及禹城平原地方間とに車馬の交通
 あり

(C)惠民街道

本街道は黃河下流地方に至る街道にして
濟陽商河を經惠民に至り更に海豐、樂陵
等に至るを得可く車馬の交通多し

(D) 東昌街道

本街道は長清を經東省に出で更に二道に別れ北道は冠縣を經て直隸省大名府に達し南道は莘朝城等を經て直隸省開州に達す、此の方面は濟南の輿地として重要視さるゝ地方にして車馬の交通頗る盛なり

(E) 臨清街道

本街道は北京街道の稍西方に位し高唐夏津等の産棉地帯を経て臨清に至り更に直隸省威縣に至るものなり本路は豫定濟順線の沿縣に當り且つ天津濟南貿易接觸地帯なるが故に車馬の交通多し

(F) 濟寧曹州街道

本街道は略々黃河流域に並行するものにして舊大運河に沿ひて南下す

前述諸街道以外泰山々脉地帶を除く各地には幾多の街道あり特に西北部各縣に至る街道は四通發達の狀を呈せり、是等各路に使用さるゝ交通機關は城内外近距離の場合には大形小車にして遠隔の地方には荷馬車を使用す

猶當地より各奥地市場に至る里程を見るに

齊河 四〇支里 濟陽 一〇支里 商河 一五支里

惠民 二五同 大名府 三五同 肥城 一〇同

平 陰 一〇同 臨 清 二〇同 曲 周 四〇同

獲鹿	三〇同
東省府	二四〇同
長清	七〇同
觀城	四〇〇同
莘	三〇同

堂邑二五同冠三六同桂平一六同

禹城二〇同宴城空同順德府五二〇同

彰德府	六五同	濮	四五同	威縣	二〇同
-----	-----	---	-----	----	-----

德	舒
州	隋
云	云
同	同
青	恩
島	縣
二	云
五	同
哩	
天	清
津	平
三	云
哩	同

鄆城二四哩道口二七同陽穀三〇支里

開州四九支里邱縣三七〇支里高唐一三〇同

武城	二七五同	平原	一八〇同	臨邑	一八〇同
----	------	----	------	----	------

徐州三同	北京三同
上海三同	曹州三同
	海口三同

更に交通機關中最も重大なる責務を有

する鐵路の上より濟南を見るに當地は膠

濟鐵路の西端に位して青島港と連絡し更

に北支那の要津たる天津と南長江の要地

浦口とを連絡する津浦線に相會するが故

に交通上の要地たるは言を俟たざる所な

り然も將來膠濟線が延長せられて河南、

山西方面に至ることありとせんか此の方

面の物資も大部分當地に集る可く當地が

交通上の要地として愈々重視さるゝに至

る可きは明なり

第二節 輸出貨

第二節 輸出貨

前節に於て述べたる如く濟南は山東省

に於ける政治經濟上の中心点にして兼て交通の要衝に當れるが故に其内地商業範圍は西部山東の外河南直隸江蘇の三省に亘り更に近年鐵道の開通に伴れ遠く山西安徽等の物資の集散をも見るに至れり、從前當地の商業系統は天津に屬したりしが膠濟鐵路の開通せられ獨逸が青島並に沿線の發展を期するため總ゆる手段を用ひ物資の吸收を計るや天津の方が短距離なるに拘らず膠濟線により青島に出さるゝ物資は次第に増加し昨年度の鐵路統計に見るも明なる如く膠濟線濟南驛貨物積出總額が二五九、九四〇屯なるに對し津浦驛の積出額は僅か一四三、五八七屯に過ぎず然もその中には津浦南段に仕向けられしものをも含むが故に天津方面に仕向けられしものは恐らく膠濟線によりしものゝ半額にも達せざりしなるべし

當地に集り外部に出さるゝ物資は商業範圍が廣汎なるだけその種類も多く一々枚舉に遑あらざれ共今比較的重要なる物資に就て述べんとす左に昨一九二四年度膠濟津浦兩驛の積出にかゝる重要物資の數量を示さん

一、膠濟鐵路濟南驛積出重要物資 (一九二四年)

大豆	一〇五五屯	雜穀	二六八屯
麥粉	一〇二四九同	鷄卵	一四〇九同
生實	九四六四九同	花生	九〇九同
生油	七四七〇同	棉花	二九三同
鉄	二六七〇同	雜貨	一〇六〇同
桐材	二八七同	高粱	四二六同
牛骨	三五同	骨粉	三八同
牛皮	六八同	銅塊	七六同
麻	九六同		

總計 二五九、九四〇屯

生牛 二〇四八頭

二、津浦鐵路濟南驛積出重要物資 (一九二四年)

麥粉	元八六屯	石炭	九三五屯
骸炭	八九〇同	綿糸	二一九九同
綿布	三二五同	棉花	三三四同
石油	五八九五屯	煙草	一六九屯
石材	五四九〇同	燐寸	四五〇同
砂糖	五一四〇同	雜貨	三七五同

に集りし生油は九、五八五屯にして膠濟驛より青島方面に積出せるは七、四七〇

少し且つ濟南に入らんとする場合には二

三屯なり

三屯なり

品名	仕出地	大連	上海	香港	支那各港	日本内地	朝鮮	其他外國	計
骸炭	四五四	五〇〇	—	—	—	—	—	—	一四五
石灰	一八八五〇	—	—	—	—	—	—	—	六六七九
豆類	三三三四	—	—	—	—	—	—	—	三六七五二
豆粕	二〇九三	—	—	—	—	—	—	—	二四三六〇
煙草	九七七二七	—	—	—	—	—	—	—	三九九五
砂糖	—	一五四四七六	—	—	—	—	—	—	三七四一三二八
海產類	三〇	二八	—	—	—	—	—	—	八〇七
綿布	〇一二五二	—	—	—	—	—	—	—	三七四
綿糸	二八二四三六	—	—	—	—	—	—	—	三五八
石油	—	—	—	—	—	—	—	—	五八
麻袋	九四	一八〇	—	—	—	—	—	—	六三八
材木	三六四	三〇六	—	—	—	—	—	—	一三二七六〇八三
紙類	一四六九〇九三	—	—	—	—	—	—	—	一〇六九四
燐寸	—	—	—	—	—	—	—	—	—
洋灰	一四八	—	—	—	—	—	—	—	九〇八
洋物	〇八	六三五	—	—	—	—	—	—	〇二
雜貨	—	—	—	—	—	—	—	—	四六六
礦石	—	—	—	—	—	—	—	—	〇一

(註) 日本内地欄内には臺灣仕出の砂糖五六屯二を含む

中國黃燐々寸製造禁止

狀況

黃燐々寸の製造販賣禁止は世界の問題であつて一九〇六年萬國々際聯盟燐寸公約によつて禁止されたもので加盟各國は續々黃燐燐寸の禁止を斷行するに至たか中國は自國の現狀より見て時期尙早とし其加盟に加はらず久敷傍觀の態度をとりしか大正十二年十一月時の支那政府は自ら進んで之に加盟し全月大總統令を以て其禁止期日を民國十四年一月一日と限定した但し其時期に至つても貯藏貨物を有するものには特に半ヶ年の猶豫期間を與へて期間内に完全に處分する事を達した之に依て見れば中國内に於ける黃燐々寸製造工場は十四年一月一日より其製造を禁止せられたるものであつて單に「ストツク」を有するもののみか貯貨の處分上販賣權を保留されたに過ぎぬ膠澳督辦公署は五月一日を以て其旨を一般に公布し之を勵行する事を各工場並に販賣業者に

通告せるか中國燐寸工場は今日迄旺んに
黄燐々寸の製造に従事し益々其貯藏貨物
は膨大を來すのみにして今や督辦公署の
通告は殆んど無意味に葬られんとして居
る

之を中國の現状より見るも南方支那は稍文化の見るべきものあり上級者間に安全燐寸の需要増加し輸入は年々増加し來りたるも山東の奥地一般は民度未だ南方に及ばず黃燐の需要は奥地一態に普及され上級階級者間に於てさへ安全燐寸の片影たも見る能わざる實情にして多年に亘りて習慣づけられた黃燐の勢力は實に偉大の力を以て居る事が判る從て日本の禁止斷行とは全然其事情を異にして居る爲め直に之を支那内地に適用する事は到底不可能の事であると思ふ強て之を斷行するとせは中國燐寸工場所有者は一團となつて反對するは火を見るよりも明らかつて現在の中國下級民の生活狀態より見るも全然黃燐々寸を捨てて高價なる安全燐寸に移る事は殆んど不可能と見らるゝ位にして支那政府に於ても這間の事情に通せざる筈なく或期間の延期を余議なくせしむるに至るべきは疑ふ余地なき所にして中國燐寸製造業者の如きは本年一月一日の製造禁止期限に至るも旺んに製造を續け今亦其販賣禁止期に於ても毫も販賣を停止する模様も見へず工場は從來の如く黃燐々寸の製造に従事しつつ何等の轉換準備も爲さざる現狀より推するも大體の事情を想像せらるへし事實斯の如くにし此際黃燐々寸製造禁止は到底斷行覺束なき狀態に在れと曩に支那政府當局より各鐵路に對し七月一日以後に於ける黃燐々寸の輸送を禁止すへき通告を發し四邊の事情を考察せず獨り鐵路のみに之を斷行せんとするは甚敷矛盾にして決して政府の眞意に非ざるへく燐寸業者をして途方に迷はしむるのみにして非難の聲高く日本總領事館に於ても北京支那政府の處置

海運陸運

青島輸出日本向貨物狀況

◆ 原田丸

(六月二十二日出帆)

○鷄卵	大阪	一二三	神戸	七九二
○落花生實	計	三二三箱	門司	七九三
○棉花	大阪	三〇〇袋	神戸	六三
○牛皮	計	三〇三		
○落花生粕	大阪	七七捆		
○燐鐵石	神戸	一六八袋		
○數	大阪	三〇〇袋		
計	大阪	一〇〇〇	神戸	七八〇
○牛油	大阪	八八〇袋		
○桐材(丸太)	大阪	二二六	神戸	三三三
○桐材(下駄材)	門司	六五	計	二九四罐
計	大阪	四三	門司	七
○第一日青丸	大阪	四三〇捆		
○牛油	神戸	三三三罐		
○桐地	大阪	一三四六本		
○桐材(桐板)	大阪	五〇捆	(丸太)	三五本
○桐材(下駄材)	大阪	三六	門司	一四〇
計	大阪	五〇九捆		
○春日丸	大阪	四六七	神戸	五六〇
○鷄卵	字品	四九四	門司	五五四
○數	計	三〇七五箱		
○銅塊	大阪	三〇〇〇本袋		
○牛皮	大阪	九七本		
○蘭屑	大阪	四〇捆		
○落花生實	神戸	一八三箱		
計	神戸	五〇	下關	五〇
○棉花	大阪	二〇〇袋		
計	大阪	一七八	神戸	四〇五
○牛脂	大阪	五八四捆		
○棉布	神戸	二三四罐		
○桐材(丸太)	大阪	一七捆		
○麥稈真田	大阪	五一本		
○骨粉	計	一五〇包		
○落花生粕	神戸	五五〇袋		
門司	二七三袋			
(中川洋行調査)				

銀塊並爲替

（自六月廿九日
至七月四日）

銀塊

前週中珍らしき躍進を見せたるも忽ち軟勢を辿り月曜支那筋の高値巨額賣物ありしが買手見送りにて四分の一方下押し直物三十二片四分の一先物三十二片四分の一に始り爾後支那の賣續に印度小口買ありたるも大勢は軟調週末直三十二片先三十一片十六分の十五見當に保合ひ越週したる

爲替

開市後の上海市場は一般商況沈靜埠頭苦力の罷業尙繼續中とて輸出入貨物移動全然なく爲替又頗る平調即ち週初支那人三志二片八分の五、七十八弗、五十二兩見當にて先物買氣ありたるも引際日本又々地震入報に三志二片十六分の二、五十二兩八分の三にて賣轉換したるも差したる影響なく買入三志二片八分の三、七十七弗八分の五、五十二兩二分の一見當標

金銀相場表

倫敦銀塊	廿九日	卅日	一日	二日	三日	四日
紐育銀塊	三二 1/2	三二 1/4	—	三三 0	三三 0	三三 0
上海標金	七 1/4	六 1/4	六 1/8	六 1/8	六 3/8	—
齊燕公所	二五五 0	二五七 0	—	二六 0	二六 3	二五九 9
取引 高	二五七 五	—	—	二六六 五	二六六 五	二六八 五
所銀 低	二五五 一	—	—	二五六 0	—	二四九 五
	二五五 一	—	—	二五〇 0	—	二四四 0

爲替相場表

同	滿洲向	101-00	101-00	—	107-00	101-00	101-00
同	天津向	101-00	101-00	—	101-00	101-00	101-00
同	上海向	78	78	—	78	78	78
同	米國向	西12	西12	—	西14	西14	西14
同	倫敦向	二三	二三	—	二三78	二三34	二三16
正金日本向		一三五〇	一三〇〇	—	一二三〇	一二三〇	一二三〇
英米爲替		四六 ¹ / ₄	四六 ³ / ₁₆	—	四六 ¹ / ₁₆	四六 ¹ / ₈	四六 ¹ / ₈
		廿九日	卅日	一日	二日	三日	四日

商况
(自六月廿九日至七月四日)

を
示
し
た
る
か
週
末
ま
で
保
合
へ
り

重要商品市況

◆綿糸布 排日見越の手當買一巡後更に端午節明後の奥地一般金融逼迫を傳へて市況頗る沈靜此間大阪上海の猛騰乃至は米棉の暴落を入れたるも何れにも副はす宛然相場釘付の態なりしが週末爲替高にて手許薄の實鎖客小口乍ら現物を買慕ひて氣配稍良好に見わたるが三品の利喰押旁々又復盆槍に暮れたり、週を通して市中手合六百件餘に過ぎず

山炭二、九三〇屯なり

四五屯博山炭二、九三〇屯なり

錢鈔

錢鈔

は廿九日前場に
はサンマーホリ

念日一日はサンマーホリデーにて休市、休會明けの
始り當陞は廿九日前場にて納會卅日は上海事件の紀

に好いしも登り
送り氣味にて商

百廿五圓に始りしも翌日の支那共和紀念日を據へし
事とて見送り氣味にて商内閑散、週末も四圍の人氣

糸

商内一暮わすい

◇ 帛 糸

十八兩七五に始り

中限百七十八兩七五に始り當限は廿九日前場にて納

安値は當限一七六

調となり安値は當限一七六兩七五を覗き週末一七八

物産

◀ 物 産

寄贈書類

自六月廿一日
至七月廿七日

廣島商業會議所
大正四年版
廣島市內
工業案

上海經濟新報第一一號
上海出版協會

時報
第二二七號
鎮南浦商業會議所

發行所
島津忠男

雜錄

山東省の落花生並同

油生産状況

山東省に於ける落花生栽培は他の農作物棉花高粱小麥と同様極めて普遍的にして到處其栽培を見るべく最著名なるは黄河以南の大地口附近並南部臨沂方面なり而して各主要産出地は所謂黃土及砂質土なれば落花生栽培には最適土質に於て各地各特産ある品質の落花生を産す一般に當省産特に南支産品に比し其粒大きく且光澤あり落花生油原料として搾油に適す且當省は概して雨量乏き乾燥地なれば其育成に際し水分過多の爲品質を低下する虞なく他の農産物に比して割合容易に栽培し得べく施肥の如きも所謂糞土に草木灰を混じたるものを使用し生育中數回の除草にて足る地方に依りては乾燥の度甚しき爲時々灌漑を行ふ處あるも枯死するに至るもの尠く斯かる地方にて却て良好なる收穫を得ることある由なり播種期も例年舊曆の四五月頃に始まり九月頃收穫す其生育期も僅四五箇月間なれば天災に會する機會少く播種期後例年多少雨量あり之が爲生育を助長し收穫期に近く乾燥の度を増すは本品栽培に甚だ好都合と云ふべし播種は普通小粒なるものは外殻を脱して直に下種するも大粒なるものは外殻を去り水分を與へ發芽せしめ然る後下種すると云ふ何れにしても播種後相當期間は生育上相當の雨量を要するも莖葉成長後は少量の水量あれば足り結實期に至ては降雨なきを可とす此點に付ても山東は本品栽培上最良好なる地なりと謂ふべし

本省に於ける落花生栽培は前述の如く極めて普遍的なりと雖大量生産地として黄河以南大地口泰安兗州を中心とせり一帶なり之に次ぐは南部臨沂營州沂州を中心とせる地方なり其他黄河流域より北部地方の禹城夏津一帶も相當の産出あり東部にては膠濟鐵道沿線及芝罘方面の極東部にも相當産出する本省の全産額は地方に於て消費せらるゝものかなり多額に上り居れば的確なる數字は不明なるも各地大集散市場に集まるものに依れば年産額十萬噸以上に上るべし中濟南に集散するもののみにて年額六萬噸に達す當省著名産地の地方別左の如し

(イ)黄河以南の地、大地口、泰安、兗州の一帶濟寧及濟南附近(集散地大地口濟南)(ロ)西南部地方臨沂、莒州、日照、沂縣、青口、石臼所、の一帶(ハ)黄河以北の地恩縣、夏津、禹城、地方一帶(集散地濟南、天津)(ニ)東部一帶濰縣、膠州、平度、芝罘及山東角地方(集散地青島芝罘)

前述地方産に就て見るに黄河以南の大地口泰安附近に産するは大地口物と稱し淡白色にして外觀美しく品質も良好にして搾油原料とし又食用として最適産量も當省中第一位に在り西南部沂州地方に産するものは西南部物と稱し品質優良にして殊に脂肪含有量多き特徴あれば搾油原料として特に好適せり産出量も大地口物に次ぎ多量なり膠濟鐵道沿線に産するものも相當多額に上り品質も良好なり黄河以北の地方に産するものは普通禹城物と稱し粒大なれども殼厚く脂肪含有量も少く河南地方より輸送し來る所謂大路貨なるものと餘り變らず市場にても左程重用せられず是等各地方産は一般的に形の大なるものと小なるものと區別に依り大花生と小花生との名稱あり大花生の過半は砂土砂地産にして別名抱貨とも稱する小花生は砂土産のものもあるも大部分粘土質産にして粘土より採取するときは粘土が實に附着して篩を用ひざれば除去する事出來ざる爲一名節貨とも稱せらる又加工の程度に依り良惡混合して直接産地より輸送せらるゝものを大路貨と稱し大路貨より選みたるものを手揀と云ひ普通品より選出して小包としなるものを包子と稱し食料に供せらる其他手にて選みたるものを稱下篩に掛け下に落ちたるものを篩貨と稱し一般市場にて用ひらるゝものに品質別として左の名稱を用ひ居れり、(Far Fair average Quality (普通品) F. A. Q. にて通じ産地より市場に輸送せらるる選實せざる普通品 P. Nature Quality 普通大路貨と稱し良惡混入して麻袋入としなるものは Selected Quality 普通品より選みたる最優良品にして輸出向なり

省内各地市場の集散状況を見るに産出額に於て大地口物最上位に在り大正十二年度に同地より津浦鐵道に依り移出せられたる額は二萬二千噸に上り主として濟南、上海、天津方面へ輸送せられたり同地泰安より五千六百噸曲阜より千噸兗州より五千噸の移出ありたり何れも濟南、上海、天津方面へ輸送せられたり濟南へ集まるものは主として膠濟兩鐵道に依るも地方より馬車に依るものも相當あり而して濟南は消費地と云ふより寧ろ仲繼地なれば取扱商にて各産地に於て買付たるものは濟南に輸送し之を鐵道に依り青島方面へ送り輸出せられ居る状態なり而して濟南に集散する落花生は主として前述の大地口物之に次ぎ黄河北部地方産禹城物及黄河方面より陸路車馬又は舟運にて輸送し來る大路貨物なり其他地方産は最近濟南に於ける膠濟津浦兩鐵道に依る本品到着發送數量左の如し (單位噸)

鐵道	發送	大正十一年	大正十二年
膠濟鐵道	發送	三、八三二	五、九二〇
津浦鐵道	發送	三、九三〇	五、五五〇
同	到着	三、八三二	五、九二〇
同	到着	三、九三〇	五、五五〇

右表に就て見るに膠濟鐵道にては到着數量は殆んど稱するに足らざる額に比し發送數量の極めて多額なるは大地口及黄河北部より輸送し來るものを當地取扱商の青島方面へ移出同地より海外殊に日本向として輸出せらるゝに語らるものにして又津浦鐵道にて到着の數量極めて多額なるに比し發送數量の少額なるは同鐵道沿治に大生産地を控へたるが爲なり尤も同鐵道に依り大正十二年度の輸送高が十一年度に比し著増せるは天津上海方面への移出増加に依るものなること明なり右濟南本邦取扱商の主なるものにて昨年度の取扱額を聞くに三井洋行二萬八千餘担價額二十一萬六千餘弗鈴木商店は僅々四車(二車百七十担)にして隆和公司は一昨年の三千噸に比し昨年は五百噸に過ぎず而して當地在本邦商に於て取扱はれたるものは加工の上青島方面へ輸送せらるゝものもあるも主として其儘青島方面へ輸送し同地にて加工の上輸出せらる

本品取引には買付者自身原産地に赴き買付をなすものあれども多くは各地著名の市場に出張員を派し買付を爲さしむるを常とす買付は例年收穫後即ち九十月の出廻期より始まり翌年四五月の候まで盛に取引せらる其後は一般に夏枯期に入りを常とするも地方生産者の投機心より往々にして貯藏荷の出荷を見ることあり大大地口の取引状況を見るに例年十月初旬各地より買付に來集し濟南の取引商も各地に出張員を派して買付に従事す取引も殆んど現物取引にして先物取引は極めて稀なり先物取引には普通手付金として買價額の二乃至五割を賣主へ渡す習慣なるも後日現物取引の際品質價格等に依り種々紛擾を起すことあれば買付者にして餘程投機心あらずとあらば現物取引に依り居れり現物取引は買付者市場にて賣主と折衝して賣買契約成立せば相方立會倉渡者看貫し担(百斤)を以て取引す因に同地に於て使用種は磅秤百斤とす濟南にて取引せらるゝものは大地口物六齊東物二大路物及河北物各一の割合にして殆んど現物取引に依り先物取引は其十分の一にも及ばざる由なり

本年度山東全省各生産地の作柄は播種期後一般に良好を傳へられたるも生育期に際し雨量過多の箇所もあり生育期後結實期に際し甚しき旱魃を見たる地方もあり目下作柄は一般に良好ならず收穫は昨年に比し減少を豫想せらる而して未だ收穫期前に屬し出廻期も茲旬月の裡にあれば市價も從前の價格を保持し新品の出廻を待ち居る状態に在り當地取扱商間に於ても所謂夏枯後に在り需要地よりの注文に應じ夫々新品買付を準備しつゝあるも現在の取引としては各生産地よりの貯藏荷に付き多少買付居る者もあり市價も昨年度新品出廻後の相場一担に付銀七圓六七錢見當を稱へしが本年度は各地の作柄不良を傳へられ收穫豫想も一般に減收を見込居れば新品は市價昂騰を免れざるべく當地主要取引商に就て聞くに九圓台を越すべき豫想を爲し居れり當省に於ける落花生の搾油方法は極めて幼稚にして各原産地にては手搾法に依り生産者自ら舊式の搾油器を所持し二三台の油槽を用意して製油するを普通とす製油方法は最初落花生を臼に入れ人手又は驢馬を使用して挽き碎き之を篩に掛け落下せるものを集め之を釜に入れ沸煮し實に上げて蒸し然る後壓搾器に入れ搾油す買付業者は之を生産者より買求め市場に搬出するも是等油は向不純物多ければ買取者又は輸移出業者は之を精製して販賣又は輸出す生産地として知らるゝは大地口臨沂膠州地方にして油質は西南部物最良く大地口取引後總べて取扱商輸出商にて精製し居るも不正不純物中に入し精製し居る油質は他は不純物を混入し外觀を美しくし品質を低下して需要者を瞞着するものある由なり大正十二年度各生産地市場に於ける移出高を見るに大地口二千噸泰安四百八十噸曲阜五百噸あり而して濟南の集散額を見るに主として膠濟津浦兩鐵道の相當ある由なり右兩鐵道に依る最近集散額左の如し (單位噸)

鐵道	發送	大正十一年	大正十二年
膠濟鐵道	發送	三、七三三	六、三三三
津浦鐵道	發送	六、二五五	六、三三三
同	到着	三、七三三	六、三三三
同	到着	六、二五五	六、三三三

右に就て見るに落花生の項に於けるは同く右兩鐵道にて濟南に集散する額は膠濟線にては到着數量に比し發送數量極めて多く津浦線にては發送數量に比し到着數量多額なり是津浦沿線に主要生産地を控へ膠濟線に輸出港たる青島を有するが爲にして濟南は此間に在り且事情を語るものにして當地は消費地と謂はんより寧ろ仲繼地なりと云ふべし

本品取引は例年落花生出廻期後にして製油期が十月頃より始まるを以て市場出廻は早くも十月下旬及十一月月上旬より始まる而して買付には落花生の如く直接生産地にて買付を爲すものあれば普通支那人の手に依り地方市場に出廻たるものを買付業者にて買付陸運水運に依り大市場に蠟集す市場の取扱には先物取引少く現物取引を主とし現物取引には賣主と直接折衝して賣買契約を爲し實際取引に便方立會の上實斤量を以て取引す取引單位は百斤建とす而して最近の市價は百斤に付十七八圓見當なり本年度は落花生不作を傳へられ從て減收を豫想せられ居れば本品製産にも影響すべく一般に市價昂騰を免れざるべし

落花生の用途は極めて多く落花生油の原料として勿論普通脱殻せるものを味附け煎りて食用に供し粉末として菓子製造用に使用し又は歐米方面にては珈琲の代用品として本品を其原料に使用する由なり本品の成分が脂肪蛋白質を主とする點より多少製藥原料にも使用せられ下劑の製造原料として可なり好結果を齎すと云ふ

落花生油は人乳酪模造乳酪の製造用燈油鑛詰用クリセリンの製造用として又石油の代用品として近來使用を増し橄欖油の代用品として用ひらる落花生油の調製料として用ひらる落花生より搾油せる搾油は支那にては下層民衆に地方農民の常食として用ひらる外乾燥して粉末して肥料として又は搾油を其儘他穀草に混じ家畜飼養料くしにも盛に使用せらるゝとの事なり

青島港輸出花生及生油表 (五月中)

(殼付)

輸 出 者	仕 向 地	倫 敦	マルセイユ	ロツテルダム	桑 港	サンペドロ	沙 市	タ コ マ	バンクーバー	門 司	合 計
大中東吉	南 杉川葉澤	—	—	—	—	—	—	—	—	5. 1/4	5. 1/4
		—	—	—	—	—	125	—	25	—	150
		—	—	—	—	25	—	—	75	—	100
		—	—	50	—	—	—	—	—	—	50
		50	100	—	—	—	35	—	—	—	185
協藤山 Botheho Bros.	和田東	—	—	—	100	—	300	—	300	—	700
		—	—	—	—	50	—	25	—	—	75
		—	—	—	—	—	—	—	25	—	25
		—	—	—	—	—	—	—	—	21. 1/2	21. 1/2
合 計		50	100	50	100	75	460	25	425	26. 3/4	1,311. 3/4

(選實)

輸 出 者	仕 向 地	紐 育	ボートランド	桑 港	沙 市	タ コ マ	バンクーバー	横 濱	神 戸	大 阪	宇 品	門 司	合 計
寶悅小峯	洋南 隆行林村	28	—	—	125	—	—	—	—	—	—	—	153
		—	—	—	50	—	—	—	—	—	—	—	50
		—	—	—	—	—	—	—	25	—	10	—	35
		250	—	350	—	—	—	—	—	—	—	—	600
中大大吉協	昌賀 川易杉澤和	—	—	50	—	—	125	—	—	—	—	—	175
		—	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	100
		—	50	—	350	—	—	25	60	—	17. 1/2	—	502. 1/2
		—	100	2,050	200	40	—	—	15	50	22. 1/2	—	2,440
藤伊山	田藤内	—	100	50	50	50	—	—	—	—	—	—	250
		—	—	—	—	—	—	20	—	—	5	—	25
		—	—	—	—	—	—	—	26	—	—	—	26
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		278	250	2,500	1,125	90	125	45	221	50	55	7. 1/2	4,745. 1/2

(FAQ)

輸 出 者	仕 向 地	安 府	コンスタンチノープル	漢 堡	倫 敦	ボートサイド	ロツテルダム	バレンシア	上海・廣東	合 計
寶三鈴	隆井木	100	100	—	—	55	—	1,525	—	1,780
		—	—	—	—	—	200	—	—	200
東悅華	洋行商	—	—	—	5	—	—	—	—	5
		—	—	25	50	—	65	—	5,581	140
合 計		100	100	25	55	55	465	1,525	5,581	7,906

(生油)

輸 出 者	仕 向 地	倫 敦	紐 育	沙 市	上 海 ・ 廣 東	合 計
三峯華	井村商	790	—	—	—	790
		—	463	1,343.8	—	1,811.8
		—	—	—	1,346	1,346
		—	—	—	—	—
合 計		790	463	1,348.8	1,346	3,947.8